

主な学校行事

(令和3年4月15日時点)

	月	主 な 学 校 行 事
一学期	4月	始業式 入学式 定期健康診断 保護者会 1年生を迎える会 学校公開 PTA 総会（書面決議）
	5月	全国学力調査 教育実習
	6月	読書月間 家庭訪問 移動教室 社会科見学 体力テスト 水泳指導始 セーフティ教室 保護者会
	7月	校外学習 薬物乱用防止教室 保護者会 集団下校訓練 終業式
二学期	8月	始業式 引き取り訓練・避難所開設訓練 夏季水泳指導
	9月	水泳指導終 運動会 社会科見学 遠足 都学力調査
	10月	マラソン月間 小中合同音楽会 就学時健康診断 開校記念日
	11月	歯みがき月間 学芸会 マラソン大会 青梅市音楽会
	12月	社会科見学 道徳授業地区公開講座 保護者会 終業式
三学期	1月	始業式 なわとび月間 社会科見学 七小オリンピック 青梅市造形作品展
	2月	読書月間 新入学児童保護者会 校内学力テスト週間 授業参観・保護者会
	3月	6年生を送る会 卒業式 修了式

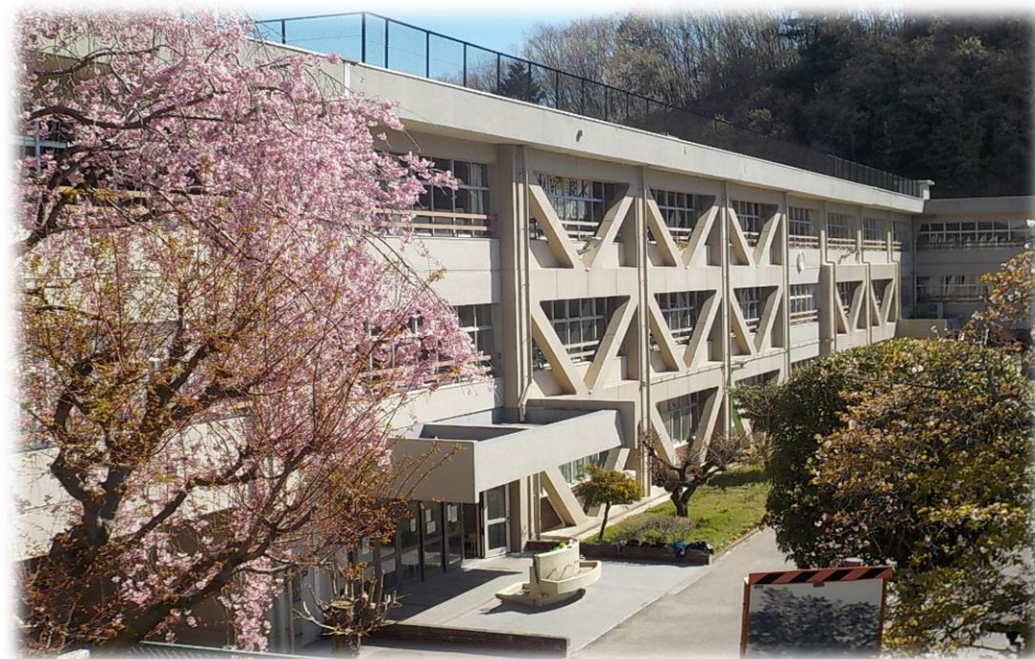
学校の沿革の概要

明 6. 5.	玄溪学舎(黒沢学校)創立	昭 54. 7.	プール新設
明 6. 6.	富岡学舎(富岡学校)創立	昭 55. 4.	14代校長 北田長治就任
明 6.11.	小曾木学舎(博文学校)創立	昭 58. 2.	青梅市教育委員会研究協力校(特別活動)
大 15. 4.	3校を統合して小曾木尋常高等小学校と改称 東西両分校を設置	昭 59. 4.	15代校長 村山美春就任
大 15. 4.	初代校長 村山為輔就任	昭 63. 4.	16代校長 山本一臣就任
昭 2.10.31	校舎落成、中央、富岡、黒沢は新校舎に移転 この日を開校記念日とする。校章制定	平 3. 4.	17代校長 後藤史郎就任
昭 4. 4.	2代校長 小峰薫就任	平 7. 4.	18代校長 柞山久雄就任
昭 8.11.	3代校長 浜中雄一就任	平 7～8	青梅市教育委員会研究協力校(環境教育)
昭 16. 4.	東京府西多摩郡小曾木国民学校と校名変更	平 7.10.11	名称表示を青梅市立第七小学校と変更
昭 17. 5.	4代校長 岡野栄一就任	平 13. 4.	19代校長 高橋 渥就任
昭 20. 8.	5代校長 杉田良緒就任	平 16. 4.	20代校長 上里良彦就任
昭 22. 4.	東京都西多摩郡小曾木村立小曾木小学校と校名変更	平 17. 3.	「子どもいきいき学校づくり」でみどりの国(学校園)改修
昭 26. 9.	6代校長 鈴木陸之助就任	平 17～18	青梅市教育委員会研究指定校(国語他)
昭 28. 7.	校歌制定 作詞杉井友行 作曲田中準	平 19.7～9	校舎耐震工事
昭 30. 4.	青梅市立第7小学校と校名変更	平 20.4	21代校長 斎藤 譲就任
昭 32. 4.	7代校長 榎本直亮就任	平 22. 6. 23	夕やけランド“おそき。(放課後子ども教室)開始
昭 35. 4.	8代校長 大野一治就任	平 23. 2. 18	青梅市小・中一貫教育推進モデル校研究発表
昭 37. 4.	9代校長 畑治就任	平 24. 4.	22代校長 須崎 和英就任
昭 37. 9.	東、西両分校を廃止し本校に統合	平 24. 8.	普通教室・音楽室空調機(エアコン)設置
昭 40. 4.	10代校長 木崎英三就任	平 25～26	学校と図書館の連携推進モデル校
昭 45. 4.	11代校長 下田寿二就任	平 25.11.2	創立140周年記念行事 郷土資料室開設
昭 46. 5.	屋内体育館完成	平 27.4.1	23代校長 中嶋 太就任
昭 47. 4.	12代校長 沢辺寿一就任	平 28.10.28	青梅市教育委員会研究指定校 研究発表会
昭 49. 2.	新校舎完成	平 30.4.1	24代校長 実森 浩明 就任
昭 49. 6.	新校舎へ移転	令 2.～3	小学校動物飼育推進校
昭 49. 11.	新校舎落成式 創立 100 周年記念式挙行	令 3.4.1	25代校長 森田 哲生 就任
昭 51. 4.	13代校長 青木 茂就任		



令和3年度 学校要覧

青梅市立第七小学校



「幸せのあふれる学校」
～すべては七小の子供たちの笑顔のために～
All for the smiles of children of “Sichisho”.

校歌

常磐木の 緑いやます
多摩の西 学びの園生
大いなる 希望に燃えて
新しき世に はばたくわれら
楽しきつどい 第七小学校

勤勞の たかきしるべに
歌声も 若やぎひびく
輝ける 理想に生きて
新しき世に はばたくわれら
楽しきつどい 第七小学校

清らなる 多摩のあしたに
白き鳩 舞いたゆたえば
すこやかに 雄々しく強く
新しき世に はばたくわれら
楽しきつどい 第七小学校

杉井友行 作詞
田中準 作曲
鈴木憲夫 編曲

【学校教育目標】

自ら考え、正しく判断し、行動できる 心身ともに健康な子どもを育成する
・仲良く助け合う子 ・進んで学習する子 ・じょうぶな体をもつ子

〒198-0003 東京都青梅市小曾木 3-1880-1

TEL 0428-74-5304 FAX 0428-74-4738

交通：JR青梅線 東青梅駅下車 北口：都バス成木循環（小曾木回り・岩井堂行）「青梅第七小学校」下車
西武池袋線 飯能駅下車 北口：西武バス飯能駅南口行「青梅第七小学校」下車
南口：西武バス東青梅駅行「青梅第七小学校」下車



七小マスコットキャラクター
「ななりんちゃん」

地域と心がかよう 心と頭と体を伸ばす学校
～児童一人一人のよさが輝き、共に学び高め合う学校～

「子供は地域の宝」であり「地域は学校の宝」である。また、地域人材は人財であるという視点から地域に根ざした学校を目指す。地域の人財や自然環境、文化や伝統などを教育活動に取り込み、地域と一体感のある教育活動で具現化を図る。

少人数のメリットを活かし、一人一人のよさが生きる取組を日々積み重ねる。自分の意見を大切に、主体的に学ぶ授業、自分の考えや作品などとの対話を通して学ぶ学習展開など通じて具現化を図る。

互いのよさを認め合い、励まし合い、助け合うことで相互に学び高め合うことができる。「みんなで学ぶと楽しい、よく分かる、よくできる」ことを実感し合える授業、対話的な学びを取り入れた授業を通して、具現化を図る。

地域との連携やより質の高い授業を展開していくのは教員一人一人の力量である。分かる楽しさ、できる喜びを実感できる授業を追究する。そのためには教職員が自己のもてる力を全力で出し合い、組織として高め合えるようにすることで具現化を図る。

自ら考え、正しく判断し、行動できる心身ともに健康な子どもを育成する

■仲良く助け合う子「心」 ■進んで学習する子「頭」 ■じょうぶな体をもつ子「体」

こころ

あたま

からだ

確かな学力の育成【頭の伸長】

健やかな体の育成【体の伸長】

何を重点にするか

- ◎人権教育の推進
 - ・挨拶や言葉遣い
 - ・いじめをなくす取組
- ◎道徳教育の充実
 - ・特別の教科道徳の推進
- ◎思いやりや尽くす心の育成
 - ・たてわり班活動の充実
 - ・交流活動の充実
- ◎自己肯定感・レジリエンスの育成
 - ・家庭との連携
 - ・教育相談の充実

- 学習意欲の向上
 - ・めあてや振り返りの重視
- 基礎学力の向上
 - ・個に応じた指導の充実
【学びの個別最適化】
 - ・学習規律の徹底
- 思考力・判断力・表現力の向上
 - ・考える力、表す力の育成
 - ・学び高め合う活動の充実
 - ・対話のある授業
【学びの協働化】

- ◎体力の向上
 - ・体育の授業の充実
 - ・一校一取組運動の充実
- ◎健康の増進
 - ・保健指導の充実
- ◎命を守る教育の推進
 - ・日常の安全指導の充実
 - ・避難訓練や安全教室等の充実
- ◎オリパラ教育の推進
 - ・5つの資質の育成
- ◎新しい生活様式への対応

- 特色ある教育活動
- ・地域に根ざした教育活動
 - ・小中一貫教育の推進
 - ・家庭学習の推進
 - ・一人一台 GIGA スクール端末の教育活動全体での常時活用
 - ・黒沢川を活用した環境教育
 - ・学校図書館司書及び図書ボランティアとの連携
 - ・郷土資料室「いろいろ庵」を活用した郷土学習

力又一体験



考える授業



土砂災害屋上避難訓練



ヤマメの放流



読み聞かせ↓



伝える授業



マラソン大会



校内郷土資料室「いろり庵」



学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級数	1	1	1	1	1	1	6
男子	1	6	2	3	4	7	23
女子	4	5	7	5	4	7	32
計	5	11	9	8	8	14	55

学 校 医	氏 名
学校医(内科)	坂元 龍
学校歯科医	志村 力
学校薬剤師	平田 伸一

研究主題
自ら考え、みんなで学ぶ子供の育成

—付けた力をもとに、分かる、できる、楽しいを実感し、
共に学び高め合える国語・算数の授業づくり—

校務分掌

